

私達のアクションプラン!

チーム①「大チャンス」



テーマ
栃木市の街に若者を増やそう!

堂下リーダー率いるチーム「大チャンス」は、準備段階から和気あいあいとした雰囲気の中、活発に意見やアイデアを交換していたのが印象的でした。今回の発表にあたっては、仮想のミニラジオ番組を企画し、発表直前の昼休憩の際に、チームのメンバーが収録して、そのまま本番で披露するという離れ業をやったの、周囲を驚かせていました。

○ 高校生による、高校生のためのラジオを作る!

数年後に、もし私達が進学などで栃木を離れても、戻って来やすい雰囲気のある街でありたいと思いい、このテーマにしました。

栃木の街を実際に歩いてみると、高校生が一人では入りにくかったり、せっかく学生特典があるのにそのことが知られていない、という課題を見つけました。これを解決するために、市のコミュニティFM「FMくらら857」で、高校生の、高校生による、高校生のためのラジオ番組「Touching Highschool Radio」を作ることを提案します。そのうえで、大通りになどにスピーカーを設置して番組を聴けるようにしたり、放送範囲を広げたり、高校生が発信できるSNSアカウントを作ったりしてほしい。また、高校生の番組が実現した時は、第1回のゲストとして、ぜひ市長に出演してほしいです!

◆ 市長のコメント

放送時間帯をどうするかなど、いくつかの課題はありますが、運営会社と協議をして、そうした番組を作ることは十分可能だと思いますし、FMくらら857の名物のひとつになると思います。スピーカー設置の提案も面白いと思いますが、静かな環境を望む方もいるので、地域の皆様のご意見を聞きながら慎重に検討する必要があります。

チーム②「マッシュ」



テーマ
高校生が栃木市のことを知り、遊び、学べる場所を駅前に

チーム「マッシュ」は、早乙女リーダーを中心に各自がアイデアを出し合いました。「駅前に高校生が集える場所ができた」という構想により、各人の夢や思いが詰まった発表となりました。また、現状で「自分たちで何ができるか」という視点で、宣伝や交流活動などを盛り込んだ、堅実なアクションプランを組み立ててくれました。

○ 高校生のための場所を栃木駅前に

駅前に高校生が集える場所があればと思います。それにより、勉強ができるカフェ、ダンスやバンドなどやっている高校生のためのステージや発表する機会、手作り品などの展示販売、高校生同士や子ども・高齢者との交流などができるようになれば良いと思います。

また、フィールドワークを行ったところ、高校生の多くは自転車市内を移動しますが、その割に駐車場が少ないことがわかりました。ですので、高校生が使える駐輪場がほしいです。私たちができることとして、高校生を対象にしたSNSによる栃木市の宣伝や、地域の方たちとの交流、道の駅やコエド市場などでのハンドメイド品の展示・販売、ゴミ拾いなどの活動を行っていただけると思います。また、数年後、市内に戻ってきて、子育てを行っていききたいです(笑)。

◆ 市長のコメント

これだけ高校生がたくさんいる栃木市で、皆さんを対象にしたお店が少ない現状がありますね。実は、栃木駅北口に、国の機関が集まる合同庁舎ができる予定ですが、隣接地に市民の皆さんが利用できるような施設を設けるという構想が、以前からあります。皆さんは卒業してしまいかもしませんが、それができた時には、高校生が集える場所をぜひ作りましょう。

チーム③「まちを作るゴジラ」



テーマ
未来のための安全安心改革

各務リーダー率いるこのチームは、日ごろの登下校などで感じている、栃木市内の安全面に焦点を当てました。「まちを作るゴジラ」という奇抜なチーム名もさることながら、発表中は、ユニークな語りや特徴的な効果音・展開などで会場の笑いを誘っていました。また、何度も市長に直接の質問や呼びかけなどのリアクションを交えた、夢トークならではの発表となりました。

○ みんなにとって安全な街に

現状の市内には、安全面での課題(道路の狭さや、市街地から離れた地点での街灯の少なさ、駅前の雰囲気など)、環境面(野良犬などが多い)などの課題があります。また、市内の高校生が市内で遊ぶと思わない、という由々しき課題(笑)がありますが、一方で、フィールドワークを行ったところ、高校生が入りやすそうなお店が意外と多いことがわかりました。そこで私たちのアクションプランとして、高校生を対象にした、危険箇所の注意やおすすめスポットの紹介パンフレットを作ったり、マナー向上のためにSNSで発信をしたりしようと思えます。そのうえで、私達の力ではできない部分、信号の改善や、街灯、道路の広さ、バリアフリーなどをお願いいたします。また、空き蔵や空き家、空き店舗などの利用で活性化をはかってほしいです。

◆ 市長のコメント

「市内で遊ぶ気になれない」というところをなんとかしなくてはいけないと思います。交通上の問題は、警察署の協力が必要なものもあるほか、特に道路の狭さについては、広げるには困難が多く、非常に難しい問題です。空き家などの活用については、栃高の前に設けた「やどかりの家」が非常に好評で、新たな施設を増やす計画も進めていきます。

木の花ホーム 建築大工課

技能五輪全国大会出場
ものづくり競技大会第2位入賞

若い匠の育成に力を入れています。
私達と一緒に家づくりしませんか?



その技術で
未来を拓け!!

ただまっすぐに
本物の家づくり

大工3代、いい家づくり。
木の花ホーム

建築大工課についてのお問い合わせはこちら

フリーダイヤル
0120-895087

〒322-0606
栃木市西方町本城62-3

木の花ホーム 検索

建設業許可/栃木県知事許可(般-24)22929号 宅地建物取引業者免許/栃木県知事(1)第4807号